

1-2 家具の転倒防止の理解と 指導要領（マンション編）

D案

K1

先ずはご自身の住まいを確認してください

- ・構造上の地震対策は、**免震/耐震/制震**？

- ・耐震基準は、**旧耐震それとも新耐震基準**？

- ・玄関ドアは、**普通/耐震丁番/耐震枠**？

建物構造上の地震対策

免震：地震の揺れを受け流す

耐震：強度を上げて地震の揺れに耐える

制震：地震の揺れを吸収する

耐震/制震構造では家具に転倒などのリスクが高い

管理組合・管理会社に確認

建築基準法では建築確認日を基準に、

・旧耐震基準

1950～1981年（昭和56年）5月31日の建築確認日

震度5程度で大きな損傷を受けない

・新耐震基準

1981年6月1日以降の建築確認日

震度5強程度の中規模地震では軽微な損傷、震度6強から7に

達する程度の大規模地震でも倒壊は免れる

これは建物の竣工日（完成日）や表示登記日ではない

逃げ道の確保として、玄関ドアは？

- ・普通ドア（普通丁番）

- ・**耐震丁番仕様**

ドアが歪んで変形しても開けることができる

- ・**耐震枠仕様**

ドアの隙間が大きい

建物が倒壊しなければ安全でしょうか？

・地震で**怪我をした原因**を見ると、
3~5割が家具類の転倒/落下/移動
によるものでした

・東日本大震災では、都内では
1~2階の2割、6~10階の3割、11階以上の約5割
に家具類の転倒/落下/移動が発生したといわれています

・家具の転倒防止を行っている方は増えてきましたが、
テレビの移動防止やガラスの飛散防止
まで行っている方は少ないのではないのでしょうか？

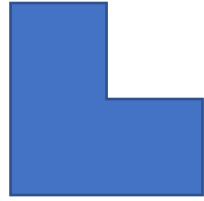
家具類が転倒すると

- ・けがや場合によっては、人命にかかわります

- ・**家具類が室内を塞ぐ**ことで、避難や救出に支障をきたします

- ・震災後に居住空間が狭くなり、生活に支障をきたします

転倒しないようにするためには ⇒⇒⇒



L字型固定器具

- ・家具をL字金具などで、壁などに直接ねじ止めする方法

【これが一番】

- ⇒ 但し、壁や鴨居は共用部の一部として、造作が許可されていない場合もあるので、事前に管理組合若しくは管理会社に確認して下さい
- ⇒ 二段重ねの家具は上下を連結するか、上段/下段それぞれ横木等に固定してください



ポール式固定器具



- まず、**天井に十分な強度**があるか確認します
- 器具は家具両側の側板部の壁側奥に設置します
- 天井との隙間は出来るだけ少ないほうが良いです
- 天井の強度がない
⇒ **天井側に家具の幅以上の当て板**で補強をします

ストッパー式や粘着マット式器具

☆ ストッパー

- ・家具の前下部にクサビを挟み

家具を壁際に傾斜させる器具です

☆ 粘着マット

- ・粘着性のゲル状のもので、

家具の底面と床面を密着させる器具です



扉開放防止器具



食器棚などは振動によって扉が開いた場合、

収納物散乱し、食器類の割れた破片などで

怪我をする危険性があるので、観音開きの扉には

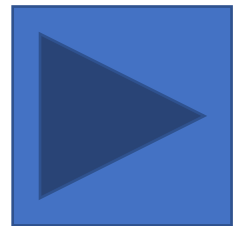
扉開放防止器具を設置します

xxxxxx ガラス飛散防止フィルム貼付 xxxxxx

ガラスの破損や収納物の飛び出しを防止し、
割れた際の破片飛散を防ぐ

両面に貼ると効果が高いが、**片面の場合は外側に貼る**

結構難しいけど、チャレンジしてください

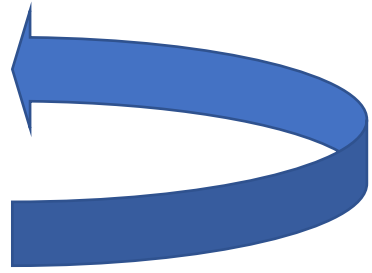




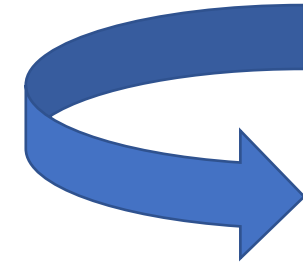
書棚等収容物落下防止



- 書棚等の収容物が地震により落下することで、**落下物が当たりけが**をすることや、**避難障害**となる危険性があります
- 落下防止器具を使って**棚の中身が飛び出さない**ようにしましょう
- **落下抑制シール**を本が乗っている棚板面に貼るのも有効です



家具類の移動防止策



- ・日常的に動かすものは、**キャスターロック**をかける
- ・動かさないものは**キャスター固定用の下皿**などを設置
- ・キャスターがないものは**粘着マットン度**を使用



長周期地震動



- ・**高層階（10階以上）**では下層階に比べ揺れが大きくなる傾向があり、家具の転倒/落下に加え、「移動」が発生しやすくなります
- ・特に**キャスター付きの家具**は移動しやすく、挟まれたりぶつかったり、通路を塞いだりし、避難に支障をきたすことがあります
- ・**机の引き出し**が飛び出して倒れたり、**水槽の水**が大きく揺れ転倒しやすくなります

～～～ 大きくゆったりとした揺れに ～～～

・吊り下げ照明器具

落下する危険があるので、ワイヤーなどで固定します

・水槽（金魚鉢）

水槽の重心が大きく変動を繰り返して転倒する危険が大きくなるので、
水槽と台を固定するだけでなく、台を壁と固定しましょう

電化製品（・冷蔵庫・レンジ等）

- ・床、壁に固定された**テレビ台とテレビを直接固定**するのが確実です
 - ・キャスター付テレビ台は、移動防止対策をしておくことが重要です
- ・冷蔵庫の背面上部のベルト取付け部分と壁とをベルトで連結します
- ・冷蔵庫の固定脚を引き出し、ロックすると共に、上部固定も併用します
- ・電子レンジ本体を**台または壁に固定**するとともに、レンジ台を床または壁と固定します

器具を使わない工夫

- ・部屋に**何も置かない**

- ・**避難経路を確保**するレイアウト

- ・モノをしまう時には**重いものを下**に

 かけなくても出来ることはあります！

◎ 自治体の補助を活用しましょう◎

家具転倒防止器具（ガラス飛散防止も）
の設置については、お住まい地域で
一定要件のもとに補助をいている
自治体があるので、確認してください

お疲れさまでした。

さあ、何が不足していますか？

思い立ったら行動です！

参考資料

- ・東京消防庁（家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック）
- ・防災士教本（2021年版 249頁）
- ・東京防災（94～105頁）